

令和8年度 日本部会通常総会・活動報告会・意見交換会等の開催

1. 第54回通常総会

令和8年6月16日、国際航路協会日本部会(PIANC-Japan)第54回通常総会が都市センターホテルにて開催されました。

総会では、栗山会長の挨拶の後、ご来賓の国土交通省港湾局 金丸・国際企画室長（森橋・大臣官房技術参事官の代理）、水産庁漁港漁場整備部 的野・事業課長のご挨拶をいただきました。

議事は栗山会長により進められ、令和7年度会務報告・決算と同8年度の事業計画・予算についての報告があり、承認されました。令和8年度事業計画の説明にあわせて、PIANC-Japanの設立50周年に当たる令和9年度の開催を企画する記念セミナー案についての説明があり、令和8年度より具体化に向けた検討を進めることが了承されました。

任期2年のPIANC-Japanの役員等の改選については、総会に先立つ第58回理事会の結果が報告され、栗山会長((一財)沿岸技術研究センター)、河合副会長((国研)港湾空港技術研究所)の再任などが承認されました。※第58回理事会については4.参照。



栗山会長挨拶



国土交通省港湾局
金丸国際企画室長ご挨拶



水産庁漁港漁場整備部
的野事業課長ご挨拶



通常総会・活動報告会の会場



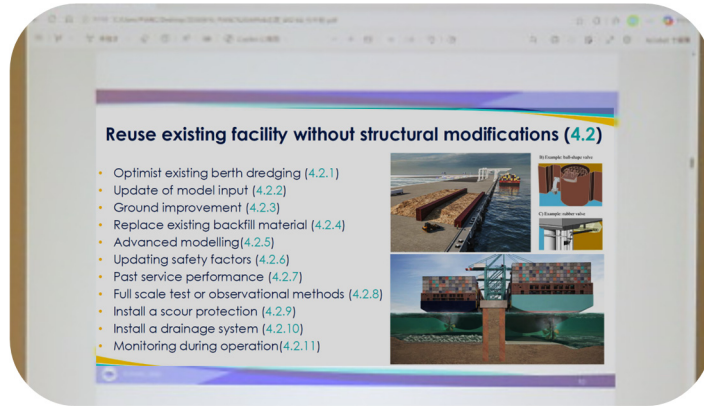
同左

2. 活動報告会

通常総会の後、PIANC活動報告会を開催し、以下の2つの技術WGの最新の活動状況等の報告などがありました。

- 2.-1 海港委員会(MarCom)WG 164委員である(国研)港湾空港技術研究所の松村聡氏から「UPGRADE OF PORT BERTHS BY INCREASING DREDGED DEPTH(増深による港湾バース改良)」と題する講演が行われた。

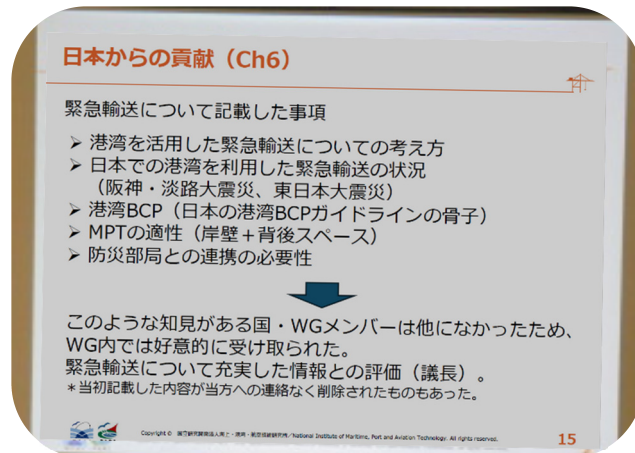
松村氏からは、ドラフト・ファイナル段階のWG報告書の「各章の概要」「本WGが定義する増深改良の分類の考え方」「設計・性能評価」や「分類毎の事例概要」「我が国の改良工法の選定・設計に係る考え方が転載された点」など幅広くご説明をいただきました。



←WG 164
増深による港湾バース改良の講演
(松村聡氏)

2.-2 海港委員会(MarCom)WG 213委員を務められた(国研)港湾空港技術研究所の安部智久氏から「PIANC WG 213*活動を振り返って (*多目的海上ターミナルの設計ガイドライン」と題する講演が行われた。

安部氏からは、2025年10月発刊の同WG報告書の「構成」「報告書の性格・有用性・留意点」「我が国情報・知見のインプット(緊急輸送, 港湾BCPとの関連等)」などについて、足かけ5年に及んだWG全体の活動の経緯・状況も含めた幅広い内容のご講演をいただきました。



←WG 213
多目的海上ターミナルの設計ガイドライン WG活動を振り返っての講演
(安部智久氏)

2.-3 その他 「PIANC AGA(年次総会)他 英国・ハル2026 概要報告」に関する資料の配布が事務局より行われた。

3. 意見交換会

栗山会長の挨拶, 一時帰国中の石原洋信・駐コスタリカ日本国大使のご挨拶, 森橋真・国交省大臣官房技術参事官の乾杯のご発声に引き続き, 会員相互の活発な意見交換が行われました。

写真: 左から栗山会長, 石橋大使, 森橋技術参事官



閉会前に、須野原PIANC名誉副会長から中締めのご挨拶をいただきました。



写真：意見交換会の会場（左上，右上，左下）

須野原PIANC名誉副会長による中締め

4. 第58回理事会

第54回通常総会に先立ち第58回理事会を都市センターホテルにおいて開催しました。

理事会では、令和7年度会務報告・決算，同8年度の事業計画・予算，令和9年度にPIANC-Japanの設立50周年を記念するセミナー開催の企画案，任期2年の役員等の選任などについて審議しました。

PIANC-Japanの役員等の改選については、通常総会の承認を前提に、互選による栗山善昭理事の会長再任，会長指名による河合弘泰理事の副会長再任が了承されました。



理事会の会場

栗山会長(左)，河合副会長(右)